

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 18 日現在

機関番号：20101

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24593204

研究課題名(和文) アメリカにおける近代看護創始期の成立，発展過程に関する歴史的研究

研究課題名(英文) A historical study of the establishment and development of modern nursing in the USA

研究代表者

佐藤 公美子 (SATO, Kumiko)

札幌医科大学・保健医療学部・准教授

研究者番号：30324213

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は，アメリカ近代における看護教育の成立・発展過程及びわが国への影響を教育学の視点から明らかにすることである．歴史的史料分析法により以下の結果を得た．1)1873年に最初の看護教育機関がアメリカ北大西洋地区に設立し，1898年にはほぼ全州において体系的な看護教育が開始された．2)アメリカ教育局年報には1891年に医学教育と並んで看護教育の報告欄が設けられ，看護学が医療系学問に位置づけられた．3)地域医療に従事した有資格看護婦はチャリティ事業を通して専門職の地位を自らが獲得した．これらより近代看護教育の成立過程には有資格看護婦によるチャリティ事業が影響し，やがてその活動はわが国へと発展した．

研究成果の概要(英文)：Purpose;This study aims to describe the process of establishment and development of nursing education in the initial stages of the introduction of modern nursing in the USA as well as its the influence on nursing education in Japan.Method;We conducted an analysis of historical documents.Results;1)The first nursing educational institution was established in the North Atlantic region in the USA in 1873, and systematic nursing education started in almost all states in 1898. 2)In Annual Report U.S. Bureau of Education(1868-1898), there were reports of nursing education as well as of medical education in 1891, and nursing science was considered a part of the medical sciences. 3) Qualified nurses engaged in community based medicine worked to attain positions as nursing specialists through Medical charity works. From this time, Medical charity works by qualified nurses influenced the process of establishing modern nursing education, and similar activities were rapidly introduced in Japan.

研究分野：基礎看護学

キーワード：看護史 アメリカの近代看護史 看護教育 歴史的研究 Charity 医療慈善活動

1. 研究開始当初の背景

アメリカ近代看護の創始とは、1860年にイギリスのナイチンゲール (Florence Nightingale) がセントトーマス病院医学校にナイチンゲール学校を開校し、そこでナイチンゲールシステムによる看護教育を開始した時期をいう。この学校で学んだ修了生によってナイチンゲールの教えは世界 (アメリカ、日本、スコットランド、中国など) に波及していった。とりわけ、アメリカへの波及はナイチンゲールシステムで看護教育を受けた、アメリカ登録看護婦第一号のリンダ・リチャーズ (Linda Richards) や看護学修士号を取得した最初の看護婦であるイザベル・スチュアート (Isabel Maitland Stewart) らにより伝えられた。さらに、1900年、世界で初めての4年制看護教育がコロンビア大学教育学部看護教育学科に創設され、看護の歴史上、大きな転機となった。

一方、わが国の看護の近代化は1885年、日本で最初の看護婦教育機関である「有志共立東京病院看護婦養成所」が開設されたことに始まる。アメリカと同様に、ナイチンゲールシステムでの教育を受けた卒業生によって、看護の近代化は19世紀に日本国内へと拡がっていった。しかし、20世紀になると世界大戦が勃発し、日本もこの戦争に参戦することになった。漸く、看護婦養成所にて看護教育が開始された矢先ではあったが看護婦への教育は戦時体制とともに衰退していった。

1945年、わが国の敗戦を機に、第二次世界大戦後は連合国軍最高司令官総司令部 (以下GHQ/SCAP) による占領が開始された。そして、GHQ/SCAPが遂行した占領改革により日本の医療・看護は大きく刷新した。特に、わが国の看護教育は戦前のナイチンゲールシステムに変わって、GHQ/SCAPによるアメリカ看護教育システムが展開され今日に至る。現在においては、世界の看護を牽引するアメリカの教育システムに習い、わが国の看護教育内容も高等化している。しかし、戦後わが国に影響を与えたアメリカ看護の“創始期”の成立、発展の過程について、日本では研究が少なくあまり知られていない。

そこで、アメリカ近代看護創始期 (1873-1913) における看護教育の成立・発展過程及びわが国への影響を、教育学の変遷から歴史的史料を用いて実証していく。アメリカ教育局は1879

年に始めて教育学分野に「看護教育」を位置づけた。つまり、位置づけに至る経緯、それから看護教育の必要性がどのように理解されアメリカ国民に周知されていったのか。アメリカ創始期における看護教育の歴史を探究し、わが国への影響とその動向を意味づける。

2. 研究の目的

研究課題は、アメリカ近代看護の創始期である19世紀後半に、看護養成機関を卒業して資格を有する看護婦の活動内容を実証することである。

さらに、有資格看護婦らが看護の専門性をどのような道程で確立していったかを探究し考察することにある。

そこで、以下の内容を明らかにした。

- (1) 『アメリカ教育局年報』に見る19世紀後半 (1873-1898) における各州看護養成所の変遷とその看護教育内容。
- (2) 北大西洋地区・ニューヨーク州を取り上げ、この州における訪問看護婦 (Visiting Nurses) の活動内容と評価。
- (3) 近代アメリカにおける医療慈善活動 (Medical Charity Works) の概要。
- (4) (3)より、医療慈善活動 (Medical Charity Works) に位置づく看護活動の実際と評価。

3. 研究の方法

(1) 分析方法：歴史的史料分析

(2) 分析対象の主な史料：

- ① アメリカ連邦内務省教育部年報；Annual Report U.S. Bureau of Education (1868-1898)
- ② 全米慈善・矯正団体会議録；Proceedings of the National Conference of Charities and Correction (1874-1919)

上記①、②の一次史料に関しては、アメリカ公文書館 (NARA) や日本国立国会図書館 (NLA)、筑波大学附属図書館での使用許可の手続きを経ている。また、アメリカンライブラリー検索サイトなどを利用し、電子化された資料や図書を閲覧した。

4. 研究の成果

(1) 19世紀後半（創始期）の動向に焦点をあてた看護教育の成立過程に関する史的考察

アメリカ近代における教育分野が看護教育をどのように位置づけてきたか、その変遷を明らかにした。1868年から1872年までの『アメリカ教育局年報』には看護教育に関する報告は一つもなかったが、1873年に初めて特殊教育学校（孤児や女工、盲目者を対象とする学校）の項目郡内に「看護訓練学校（Training of nurses, Training School for Nurses）」として掲載されていた。その報告内容は州ごとに様々であったが、概ね入学条件や修業年限、生徒数、卒業生の動向が記されていた。1879年からは州の教育（Statistics of education for the year）の章に掲載されるようになり、さらに1891年の報告書からは医師、歯科医師、薬剤師の教育と並んで看護訓練学校（School of nurse training）の項目が設けられ、看護教育が医療系学問として位置づけられた。

(2) アメリカ近代看護創始期における Visiting Nurses の New York 州の看護活動

19世紀後半、看護養成機関を卒業した有資格の訪問看護婦（Visiting Nurses）がどのような活動を展開したのか、看護の専門性をどのように確立していったのかを考察した。

1877年、ニューヨーク州北部のバッファローにて、貧困に苦しむ人々に対して中産階級の人や教会関係者、修道女が中心となり物質的援助を行う事業が開始された。1885年からは有資格の訪問看護婦らによってチャリティ活動が行われ、その活動は1893年リアン・D. ウォルドらによる看護セツルメント事業へと発展した。ニューヨーク州はこれら訪問看護婦の活躍によって公衆衛生活動の先駆的地域となった。1900年にはニューヨーク州の訪問看護施設は23か所あり、訪問看護婦は132名登録し活動していた。そして、これら施設の半数は教会が運営していた。当初は訪問看護婦の裁量で行われていた活動も1900年以降は、訪問看護の組織団体が統括し、看護労働を確保していった。

さらに、訪問活動を始めてから10年が経過した1905年には、訪問看護婦が行った公衆衛生の概念や看護実践が州から市、そして各家庭の母親、

子供にまで浸透していったと評価されるに至った。

(3) National Conference of Charities and Correction (1874-1919) によるチャリティ事業での看護活動

近代アメリカにおける医療慈善活動（Medical Charity Works）に位置づく看護活動の実際と評価を、全米慈善・矯正団体会議録（National Conference of Charities and Correction ; 1874-1919, 以下 NCCC）より明らかにした。分析史料より、第1回（1874年）から第46回（1919年）まで、NCCCでは不定期だが「病院」や「看護教育」「看護実践」に関するテーマが24回取り上げられたが、第47回（1920年）以降は看護に関するテーマは取り上げられてはなかった。第17回（1890年）大会で初めて“Training School for Nurses”の特集が議題に組み入れられ、その後は第21回（1894年）、第22回（1895年）においても検討されていた。会議の席では、医師、看護管理者、看護学校の教師や訪問看護婦などが地域における看護活動の現況や看護婦の労働条件、市民の劣悪な生活環境、看護学校のカリキュラムなどを報告していた。この報告者の中にはイザベル・ハンプトン、リンダ・リチャーズ、リアン・ウォルドなど当時の看護界の第一人者の姿も伺えた。この団体が運営するチャリティ事業の初期の頃は、看護教育のカリキュラム紹介など看護訓練学校の設立や趣旨の周知に努めた報告が多かった。しかし、1900年代に入ると地域社会の衛生問題などに対して、看護訓練学校で教育を受けた看護婦がいかにも有能に活動を展開しているかを強調したものへと変化していった。

アメリカ近代においてはキリスト教徒への育成と職業自立を前提としながらも、なぜ看護の専門教育が必要なのか、看護婦の資質とは何かを、チャリティ事業を通して看護者自らが社会へ発信していた。チャリティ事業が近代看護教育の形成の一端を担ったことが示唆された。

5. 主な発表論文

[雑誌論文] (計3本)

- ①佐藤公美子, 奥宮暁子, 城丸瑞恵: 近代アメリカ看護教育の形成とチャリティ事業の関連, 日本看護歴史学会誌, 27(27): 76-83, 2014 (査読有) ISSN 1340-5969
- ②佐藤公美子, 奥宮暁子, 城丸瑞恵: アメリカ近代看護創始期における Visiting Nursing の形成—New York州の看護活動を中心として—, 日本看護歴史学会誌, 26(26): 43-50, 2013 (査読有) ISSN 1340-5969
- ③佐藤公美子, 奥宮暁子, 城丸瑞恵: アメリカ近代における看護教育の成立過程に関する史的考察—19世紀後半(創始期)の動向に焦点をあてて—, 札幌保健科学雑誌, 1(1): 55-61, 2012 (査読有) ISSN 2186-621X

[学会発表] (計6本)

- ①Mizue S, Kumiko S, Akiko O: The Historical study on the formation of the Modern American Nursing Education; Analyzed of National Conference of Charities and Correction (1875-1919) 17th East Asian Forum of Nursing Scholars. Manila, (Philippines), 2014.2
- ②Kumiko S, Akiko O, Mizue S: Historical Research on the Process of the formation of Modern Nursing Education in the United States. 16th East Asian Forum of Nursing Scholars, Bangkok, (Thailand), 2013.2
- ③佐藤公美子, 城丸瑞恵, 奥宮暁子: “1890-1895; National Conference Charities and Correction” にみる ‘Training School for Nurses’ の概況. 第27回日本看護歴史学会学術集会. 京都府立医科大学(京都府). 2013年8月31日-9月1日
- ④奥宮暁子, 佐藤公美子, 城丸瑞恵: National Conference Charities and Correction (1875-1919) に見るアメリカにおける近代看護創始期の特徴. 第27回日本看護歴史学会学術集会. 京都府立医科大学(京都府). 2013年8月31日-9月1日

- ⑤佐藤公美子, 城丸瑞恵, 奥宮暁子: 近代アメリカ看護教育の形成過程とチャリティ事業—National Conference of Charities and Correctionを中心として—, 第33回看護科学学会学術集会, 大阪国際会議場(大阪府). 2013年12月6日-7日
- ⑥佐藤公美子, 城丸瑞恵, 奥宮暁子: アメリカ近代看護の創始期における Visiting Nursing の活動報告—New York地区, 19世紀後半に焦点をあてて—, 第26回日本看護歴史学会. 日本赤十字看護大学(東京都渋谷区). 2012年8月26日-27日

[図書] (計3本)

- ①奥宮暁子他(監訳): Diane M. Billings, Judith A. Halstead; Teaching in Nursing (Translation supervised) 看護を教授すること. 医歯薬出版株式会社. 東京. P1-498, 2014
- ②佐藤公美子(分担翻訳): Teaching in Nursing; Chapter 3, The Academic Performance of Students: Legal and Ethical Issues(trans.), 学生の学業成果:法的問題と倫理的問題. 医歯薬出版株式会社. 東京. p35-52, 2014
- ③城丸瑞恵(分担翻訳): Teaching in Nursing; Chapter 24, The Evaluation Process(trans.), 臨床実践の評価. 医歯薬出版株式会社. 東京. P423-439, 2014

6. 研究組織

[研究代表者]

佐藤 公美子 (Sato Kumiko)
札幌医科大学保健医療学部・准教授
研究者番号30324213

[研究分担者]

城丸 瑞恵 (Shiromaru Mizue)
札幌医科大学保健医療学部・教授
研究者番号90300053

奥宮 暁子 (Okumiya Akiko)
帝京科学大学医療科学部・教授
研究者番号20152431